

短歌・俳句

※短歌や俳句は、選者添削で掲載する場合があります。

短歌

選者／山中 律雄

特選 ゆく夏を惜しみて今宵打ちあぐる

花火に海面幾度あかるむ

佐藤 静子／芹田

【評】骨太な作品である。美しい花火に照らされて明るむ海面は幻想的だ。「ゆく夏を惜しみて」打ち上げられる一瞬の花火には哀れがあり、季の移ろいに対する愛惜の想いが滲む。一切の余情を排し、単純に歌ったことよって深みが出た。

入選 赤々と沈む夕日に灯台も

帰る漁船もかがやける嗚呼

佐藤 つや子／浜金浦1区

みちのべの草それぞれに花持ちて

われの常なる愁ひを癒す

松井 藤夫／鳥屋森

俳句

選者／宮本 秀峰

特選 今朝の秋夫も早起きパンを焼く

川上 郁枝／大町

【評】暑かった夏も立秋を過ぎると、風のそよぎや雲の色や形にも少しづつ秋の気配を感じるようになる。旦那さんもこの頃早く起きるようになり、朝食のパンを焼いてくれるようになった。爽やかな一句です。季語の「今朝の秋」は、本来立秋の朝のことが、「この頃の朝の清々しさを表しています。」

入選 月今宵古刹の塔を浮ばせり

朱の鳥居苔に鎮座す牛蛙

稲葉 峻山／埼玉県

御神輿の行く先々を浄めけり

伊東 恵子／32区

阿部 静子／杉山

広報「にかほ」では短歌・俳句を募集しています

毎月25日必着で、ハガキ・ファクス・電子メール等で投稿してください。

送り先：〒0188-0192

秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1 にかほ市役所 まちづくり推進課
ファクス：0184-62-9013 メール：machidukuri@city.nikaho.lg.jp

広報「にかほ」NIKAHO 10.15

2019 No. 338

池田修三木版画展 まちびと美術館

ふたあり

期間

11月2日(土)～10日(日)

▶時間 10:00～16:00

会場

象潟公会堂 ほか、

にかほ市の店舗・飲食店、公共施設など

池田修三作品のほか象潟小学校5年生の版画などを展示します。詳しくは象潟郷土資料館HPをご覧ください。

池田修三木版画デザイン切手販売

修三さんの木版画デザイン切手が11月2日から販売開始！象潟郵便局、象潟公会堂、象潟郷土資料館で購入できます。

主催／にかほ市 にかほ市教育委員会

お問い合わせ／象潟郷土資料館 ☎43-2005



▲「ふたあり」1985

発行／にかほ市役所 まちづくり推進課

〒0188-0192

秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田1番地

☎0184-43-7510 (直通)

電子メール info@city.nikaho.lg.jp

ホームページ https://www.city.nikaho.akita.jp